

## 透析医のひとりごと

### 「今になっての間違い」——高宮登美

オンライン HDF・push and pull HDF・透析液の清浄化を当院で行って、そろそろ 16 年が経過します。私個人が今でも失敗したと思って忘れられないことがあります。

push and pull HDF やオンライン HDF を行うために透析液をクリーンにしなければならないのはわかっていたのですが、push and pull HDF やオンライン HDF の事が頭の中で先行してしまい、透析液を清浄化したことによる患者への影響・改善具合のデータを明らかにしていなかったことです。

現在は透析液清浄化によるだけでも、透析患者さんの諸々の合併症も若干は改善されることはわかっていますが、その当時はただ単に透析液をクリーンにして push and pull HDF やオンライン HDF を行いました。ただその当初から一つだけ思っていたことは、もしかしたら透析液をクリーンにしただけでも  $\beta_2$ -MG は下がるかもしれないと思い、F 先生に申し上げたことがありました。

現在は簡単に行うことができる透析液の清浄化ですが、当初は RO 液・活性炭・液ラインなどから 1 年以上、季節性も考慮して、原水（井戸水・市水）や RO 膜前後など、透析液のラインのありとあらゆる所の菌の検査、培養検査、エンドトキシンを調べたり、RO 膜やエンドトキシンカットフィルターと言っているフィルター類を切断して電顕で調べたりして、これで大丈夫だろう……との考えのもとに患者さんに説明してから push and pull HDF のバッグタイプを作成し透析を行いました。それから半年位して透析液のみ利用したオンライン HDF を患者さんに行い現在に至っています。

当初は患者さんの熱や血圧や体重測定用ベッド上などを使用し、技師さんがつきっきりで行っていました。熱が出たりすると HDF は中止したり、血中のエンドトキシン濃度を測定したり、「風邪かな？」などと模索しながらの時代でした。

現在は安易に簡単に行うことができますが、安易にエンドトキシンカットフィルターを使用すればそれでいいじゃないか、と思われている方も多いと思いますが、それだけでは透析液の清浄化にはなりません。原水（井戸水や水道水）や RO 水の処理を行い、細菌やエンドトキシン濃度を減らすことが大切であり、RO 膜によってすべて処理されているという考えは捨てなければいけないと思っています。

ここ 3~4 年前より代替医療に興味を持っています。これは、患者さんや一般の方々から医療費には——ここだけの話ですが——文句を言いますが、ご自分で買われますサプリメントや黒酢だのニンニクなんやらには、お金を惜しまないこと、ジムや化粧品や石鹸に至っては、何故こんな値段で買うのかと思うこともあるからです。

代替医療についても、現在の保険医療でカバーできない部分も自費で支払って頂き、針・テーピング・アロマ・リラクゼーションなど患者さん本人でもできることがたくさんあり、ご自分で一番癒されるものをお考えだと思います。今後もさらになにかを見つけて、患者さんから「透析」という言葉を忘れさせてあげたいものです。

医療法人青藍会たかみや医院